

令和2年度新人大会埼玉県予選
選手の動き

①オーダーオブプレイ（OP）を確認

②OPに自分の番号が載ったら、本部へ申し出る

「〇番コート控えの〇〇です」

先に申し出た選手 → 試合結果報告書を受け取る

後に申し出た選手 → 受け取るものはないが、必ず申し出る

③前の試合が終わったらコートに入る

④試合結果報告書をバインダーに挟み、ロービングアンパイア（RU）を待つ

⑤RUに従い、選手確認とトスを行う

⑥試合を行う（毎ゲーム、カウンターを操作し、本部に戦況がわかるようにする）

⑦試合終了後、RUを待つ（呼ぶ）

⑧RUに従い、試合結果を確認し、RUサインをもらう。勝者は試合結果報告書を持って本部に報告する

勝者 → 次の試合に備える（①に戻る）

敗者 → 本部に挨拶をして、帰宅する（または、会場にいる他の選手のサポートを行う）

令和2年度新人大会埼玉県予選
本部（レフェリー）の動き

受付前の準備

トーナメント表準備、注意事項掲示、配布用（掲示用）セルフジャッジマニュアル準備
試合結果報告書印刷・裁断、各コートバインダー設置、各コートゲームカウンター設置、
手洗い用せっけん準備、手指消毒用アルコール準備

受付時

ドロー番号、選手名、服装確認。個人健康チェックシートを提出させる（1カ月会場保管）。
セルフジャッジマニュアル配布、または掲示したものを確認させる。

大会中

- ①オーダーオブプレイ（OP）を記入する
試合結果報告書にもドロー番号、学校名、選手名を記入する
- ②OPを見た選手が申し出てきたら、
先に申し出た選手 → 試合結果報告書を渡す
後に申し出た選手 → 渡すものはないが、試合の準備をするように促す
※申し出があったかどうかをOPなどに記録し、コートが空いても申し出がない
場合、1度呼びかけ、時間を測る。→15分経過したら失格とする
- ③勝者が試合結果を報告しに来たら、トーナメント表に記録する
- ④大会運営上の問題が生じた場合、ディレクターに相談する

大会終了後

- ①試合結果を記録したトーナメント表の写真を記録部に送る

令和2年度新人大会埼玉県予選
ロービングアンパイア (RU) の動き

基本的な動き

- ①少なくとも3～4面に1人、RUに割り当て、45分～1時間のローテーションを組む
- ②割り当てられたコート付近にイスを置いて座るか、コート付近を巡回しながらコート内を観察する

試合開始前

- ・選手がコートに来たら、(1)試合結果報告書を元に選手名を確認する
(2)試合開始時刻、トスの結果を報告書に記録する。報告書はバインダーへ
- ・選手がコートに来ない場合、時間を計測する
 - (1)1名(ペア)だけ来ない場合、1度コート付近で呼び出す
→ 15分経っても来ない場合、本部に連絡し、失格とする
 - (2)誰も来ない場合、本部に空きコートか確認する
→ 空きコートでなく、15分経っても両選手とも来ない場合、両者失格とする

試合中

- ・選手が揉めていたら事情を聞き、ルール問題および事実問題について判定する

【よくある事例】

- ①サーブする人、サイド、プレーするエンドを間違えた
→ 終わったポイントは成立する。直ちに間違いを訂正し、スコアに応じた形で再開する。
※ 間違ったまま1ゲーム以上プレーをしていた場合、処理が煩雑なので審判部へ確認
 - ②カウントがわからなくなった
→ セルフジャッジマニュアル(3)を参照
 - ③ジャッジに関して揉めている
→ クレーコートの場合はBMIを行う (RUマニュアル3を参照)
→ クレーコート以外の場合は、RUマニュアル1(9)を参照
- ・コード オブ コンダクトの違反がないか観察する (RUマニュアル4を参照)
 - ・妨害がないか観察する。妨害があった場合、ペナルティ (RUマニュアル4を参照) を科す。

【よくある妨害】

- ①レシーバーが1st サービスと2nd サービスの間に声を出す
- ②グッドであるにも関わらず、アウトと伝わるような声やジェスチャーを出している
- ③ダブルスで、レシーバーのパートナーが不必要にサービスのコースに侵入する

試合終了後

- ・両選手に最終スコアを確認する
- ・試合結果報告書へ最終スコア、勝者氏名に大きく○、試合終了時刻、RUサインを記入する
- ・試合結果報告書を勝者へ渡し、本部へ報告させる